

国立国会図書館は立法府に属し、国会、行政・司法の各部門及び一般公衆に対して幅広いサービスを提供しています。国立国会図書館の業務は調査業務・司書業務・一般事務に分けられ、総合職試験、一般職試験等での採用者はこれら3つの業務の様々な仕事を担います。

職員の身分は国会職員（特別職国家公務員）で、東京本館（東京都千代田区永田町）、関西館（京都府相楽郡精華町）又は国際子ども図書館（東京都台東区上野公園）で勤務します。

職員の定員は894名（令和4年4月現在）です。

身分

国会職員（特別職国家公務員）
※勤務条件等は一般職の国家公務員とほぼ同様です。

勤務時間

本則は、午前9時から午後5時45分まで（休憩60分を含む）。
また、育児短時間勤務、保育時間、育児時間、早出遅出勤務、休憩時間変更措置、フレックスタイム制等の制度を利用できます。

給与

給料は一般職の国家公務員の給料に準じた額となります。
また、期末・勤勉手当（6・12月期）、通勤手当、扶養手当、住居手当、超過勤務手当等が支給されます。

勤務地

【東京】 東京本館（東京都千代田区永田町）
国際子ども図書館（東京都台東区上野公園）
【京都】 関西館（京都府相楽郡精華町）
※官署間の異動、東京と京都間の転勤があります。

寮・宿舎



代々木上原寮

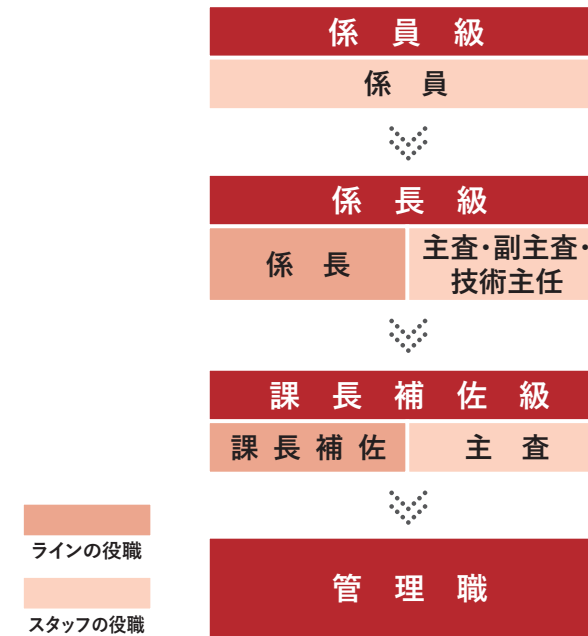


京都宿舎

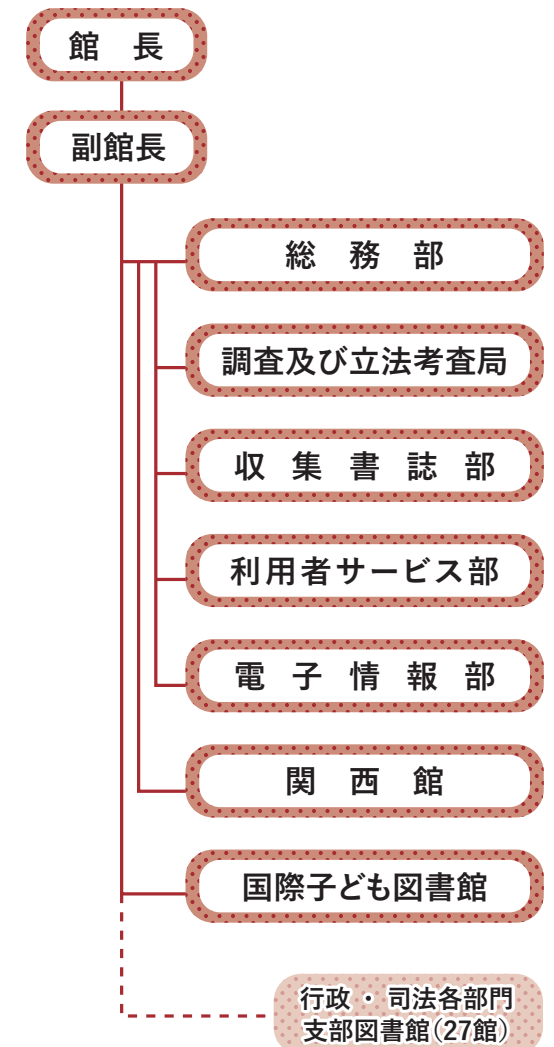
東京都渋谷区に代々木上原寮（独身者用）が、京都府相楽郡精華町に京都宿舎があります。

キャリアパス

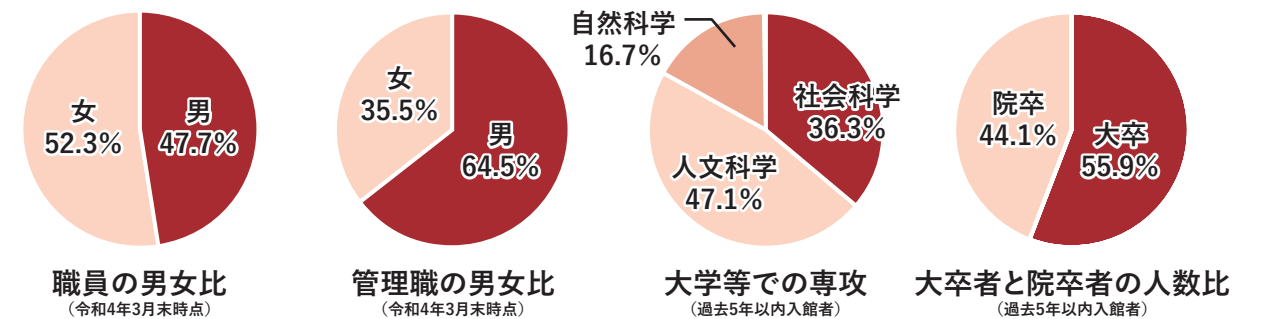
国立国会図書館の職員は、定期的な異動によって様々な部署や業務を経験し、多様なキャリアを歩みます。学歴、専攻に関わらず、職員の適性や希望等を考慮して、配属先を決定します。



組織図



職員統計



国立国会図書館ホームページの「次世代育成支援及び女性活躍推進」に育児休業取得率、女性の活躍状況等に関する統計情報の詳細等を掲載しています。<<https://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/policy/jisedai.html>>